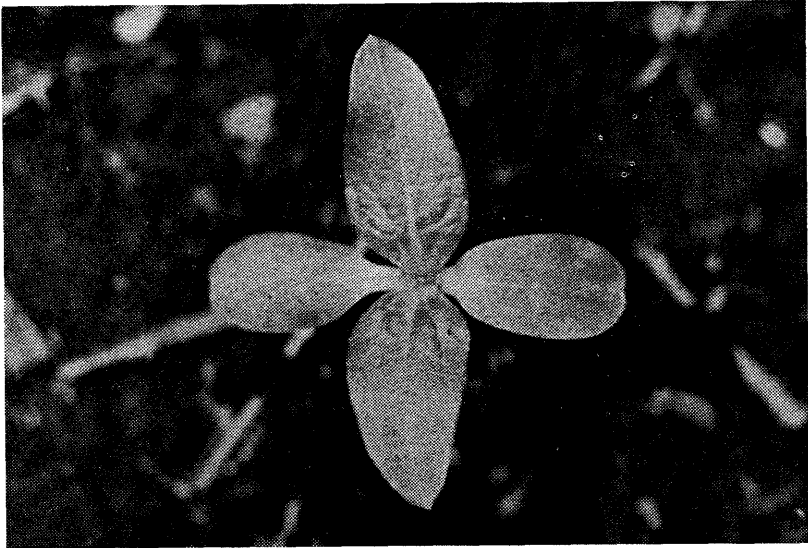


したもえ  
下 萌



▲ ヒマワリの若芽

「双葉」(双子葉)と本葉が、きれいな幾何学的模様をつくっている。

左右に開く二枚がふたばで、たてに開いているのが本葉である。

ちょっと見ると何の変りもないが、ふたばは本葉が出て光合成を開始するまでの栄養源であり、貯蔵している栄養を本葉に供給しているのである。本葉は日光により光合成で栄養をつくりだす。ほんとうに不思議である。

文・写真 阿久沢栄太郎